

全般的な傾向はプロフィールによってみられるが、男女はかなり類似していて、あまり差のない状態がみられる。

このことは、生活に対する関心が、似かよっていることを意味するかもしれないが、今回は、そのいずれであるかを判定するに十分な資料は、とりえなかった。

また男女で比較してみると、遊びやスポーツに関しては、女子より男子の関心度が高いが、友達に対しては、男子より女子が興味を働いていることがうかがわれる。ただし、その表われ方は、高学年になるほど低下の傾向がみられ、学年差が

みられた。特に進学や男女交際のは、成長的発達により増加する傾向は、自然のことであろう。流行している服装への関心は、小学校の男子より女子がやや高いが、発達により関心度が増さないのは、まだ心の余裕が、身辺まで及ばない状態のようである。

項目8のクラブ活動や部活動では、中2男は、小、高よりやや高いが、やはり全体としては、女子より男子がスポーツへの興味と同じく高いようである。項目10の進学については、女子が男子より関心度が高いのは、好むと好まざるとにかかわらず現実的な問題が関心の対象となって表われているように思われる。

3. マスコミ（テレビ）の取得状況は、どうであろうか。

表2. よくみるテレビ番組は、どれでしょうか。（2つ選定）

選 択 肢	学 校						中 学 校						高 校					
	地 域		都 市		農 村		地 域		都 市		農 村		地 域		都 市		農 村	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1. ニュース、ニュース解説	5.8	4.5	7.0	4.6	6.4	4.5	8.2	11.2	3.1	8.2	6.0	9.6	13.0	11.0	6.0	5.0	9.5	8.0
2. 教養・教育番組（講義・解説・座談会など）	4.2	2.1	1.6	9.1	2.8	5.0	2.9	1.7	2.0	0	2.6	0.8	5.0	0	1.0	1.0	3.0	0.5
3. スポーツ番組	18.3	2.9	14.1	37.5	16.1	3.2	15.7	8.6	18.4	9.7	15.5	9.2	21.0	11.0	22.0	10.0	21.5	10.5
4. ドラマ、劇映画	25.0	25.5	15.6	21.6	20.2	23.9	31.4	32.8	26.5	36.6	29.4	34.8	39.0	41.0	40.0	40.0	39.5	40.5
5. マンガ	28.3	29.9	35.9	27.3	32.7	28.8	20.1	9.5	25.5	11.2	22.5	10.4	8.0	3.0	6.0	0	7.0	1.5
6. 音楽、舞ようショー番組	6.7	17.2	7.0	10.2	6.9	14.4	10.5	22.4	11.2	18.7	10.9	20.4	9.0	24.0	16.0	32.0	12.5	28.0
7. クイズ、ゲーム	11.7	15.8	18.0	21.5	14.5	18.0	10.5	13.8	13.3	14.1	11.7	14.0	4.0	7.0	9.0	11.0	6.5	9.0
8. その他	0	2.1	0.8	2.2	0.4	2.2	0.7	0	0	1.5	0.4	0.8	1.0	3.0	0	1.0	0.5	2.0

毎日の生活で、ふだんよくみるテレビ番組を選定してもらったところ上記のような結果がえられた。前年度の性意識調査は、マスコミや週刊誌により知識を得るとの結果がみられたので、そのうらはらとして、はたして児童・生徒は、どの番組をよく視聴するか調査したものである。児童・生徒は、決して無批判にうけとっていないことだけはうかがわれる。

次に学校種別の比較を試みると、小学生は、男女ともにマンガやドラマ、劇映画の順であり、中学生、高校生はドラマ、劇映画が男女ともに最高位をしめている。

このような娯楽的傾向が強いのは、小、中、高と大差がない。

男女別にみると男子はスポーツ番組とマンガが比較的すきであり、女子の場合は、音楽、舞よう